

## 米国糖尿病学会 2018 にて口頭発表

2018年6月22日から26日にアメリカのオーランドで開催された American Diabetes Association Scientific Sessions 2018 に参加し、「DAG Accumulation due to Type 1 DGK Inhibition Has Contradictory Dual Effect on  $\text{Ca}^{2+}$  Signaling in Pancreatic  $\beta$ -Cells (膵 $\beta$ 細胞において Type 1 DGK 阻害による DAG 蓄積は  $\text{Ca}^{2+}$  シグナリングに対して二面性を示す)」という発表題目で口頭発表を行いました。本学会は、全世界から糖尿病研究を行う多数の研究者が集まり、学会テーマ「Diabetes breakthroughs happen here」の下、基礎から臨床にかけて幅広く糖尿病研究の成果が発表され、最新の糖尿病研究について深く知ることが出来ました。

米国糖尿病学会は、応募演題が非常に多く、簡単に演題が採択されるわけではありません。今年度は2174演題が採択され、そのうち口頭発表は375演題のみが採択されました。その中でも、私は口頭発表に採択され、生理活性脂質ジアシルグリセロール (DAG) の主要代謝酵素である DAG キナーゼ (DGK) のうち、 $\text{Ca}^{2+}$ によって活性化される I 型 DGK の機能低下による膵 $\beta$ 細胞内 DAG の蓄積が、その蓄積の程度によりインスリン分泌を促進あるいは抑制するという二面性作用を示すこと、さらにそのメカニズムについて発表しました。世界的な糖尿病研究者が数多く参加する中での発表及び質疑応答は非常にレベルが高く、私にとってとても刺激的な学会となりました。

国外で開催される国際学会での初めての口頭発表という中で、英語でのプレゼンテーション及び質疑応答の難しさを肌で感じ、自らの英語力、特にリスニング能力の乏しさを思い知らされました。この貴重な経験から得た反省点を今後の研究者としての飛躍に繋げるために、さらに英語力を向上させて、海外の研究者に物怖じせずディスカッションできるよう精進していきたいと思えます。



薬食生命科学総合学府 薬学専攻 薬理学教室  
博士課程4年 澤谷 俊明